

どういふことをしたら、罪？

クリスチャンは、「キリストの律法」と呼ばれる
神の命令に従って信仰生活を送ります。
その命令を守れなかったら、罪になります。
ですから、聖書を学ぶことを通して、キリスト
の律法について聞くこと、そして教会の仲間
(兄弟姉妹)と励まし合いながら、神の命令を
その通りに実行しようとするのが、大切です。
このテーマでの集会は、下記のとおりです。
まだクリスチャンでなくても、聖書やキリスト
教に関心のある方は、どうぞお越しください。

2026年特別集会 テーマ：「信者と罪」
11月8日 (日) みやま市 10：30～15：30

お問い合わせは 熊本聖書フォーラムのホームページから
<https://seishoforum.net/kumamoto/top/>

聖書のことばを あなたに

…紀元1世紀、使徒ヨハネのことば

信者が信仰生活を送る中で、最も大切なことば

もし私たちが自分の罪を告白するなら、
神は真実で正しい方ですから、
その罪を赦し、
私たちをすべての不義から
きよめてくださいます。

(ヨハネの手紙第一 1章9節)



クリスチャンも罪を犯します

信仰によって救いを受け、洗礼も受けるなら、罪を犯さなくなるのでしょうか？

いいえ、クリスチャンになっても、その人の内側にある罪の性質が消えてなくなるわけではありません。クリスチャンも罪を犯します。

罪を犯したら、どうするのか

まず、信じたときに受け取った永遠のいのちは失わないので、安心しましょう。

でも、父なる神との交わりは途絶えます。神は清いお方だからです。罪が壁となって、神との交わりができなくなります。

そこで交わりを回復する方法は、祈りです。

それも、罪を言い表す祈りです。

天の父なる神に、「私がした〇〇は罪でした」と言い表しましょう。

罪を言い表すと、どうなるか

二つのことが約束されています。

第一、父なる神は、言い表されたその罪を赦してくださいます。

第二、そのとき気づいていない罪があったとしたら、父なる神は、そのすべての罪も赦し、信者を罪の汚れからきよめてくださいます。気づいた罪を言い表すだけでいいとは、話が良すぎると思いますか？

使徒ヨハネは「神は真実で正しい方ですから」と言いました。真実で正しいとは、約束したことは必ず果たす、という意味です。

神は二つの約束を、ご自身の真実さのゆえに、必ずそのとおりにしてくださいます。

罪を言い表すときに、反省や弁解をしてはなりません。赦しは、神の恵みによるのです。